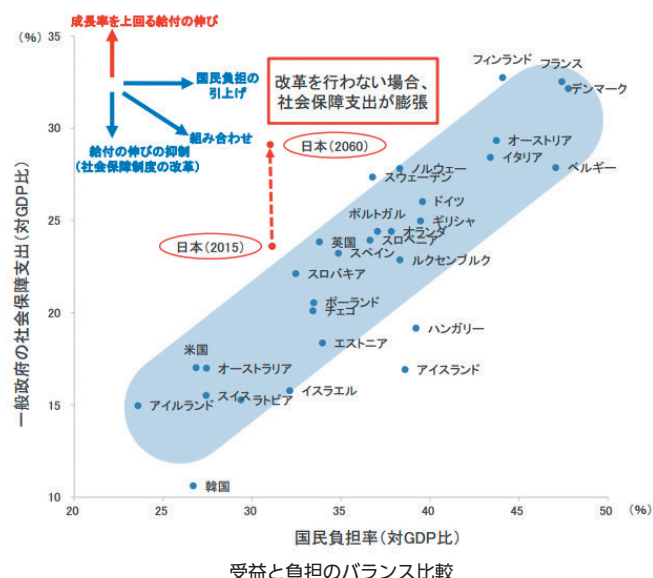


財政教育プログラム in 金秀グループ



プログラムの前半では、令和6年度予算、日本の借金の状況、受益と負担のバランス等について説明しました。また、受益と負担のバランスを諸外国と比較すると、日本の社会

これからの日本のために
財政を考える

沖縄総合事務局財務部の出前講座では、タブレット等を活用した予算編集シミュレーションなど、グループワークを取り入れた「財政教育プログラム」を実施しています。今般、民間企業（金秀グループ）から財政教育プログラムを活用して新規採用者向けの研修を実施したいとの申し出を受け、民間企業では初となる財政教育プログラムを4月6日に実施しました。

受益・負担 バランスシミュレーション

保障は、「給付」（社会保障支出）に対して、「負担」（税・社会保障料）が低い現状や、高齢化等に伴う社会保障の給付の増加と国民の負担の関係について、引き続き、国民全体で議論していく必要があることを説明しました。

プログラムの後半では、8グループに分かれ、グループごとに受益と負担のバランスが釣り合っていない状態にどのような改革が必要か、テーマを策定、検討してもらったあと、各グループから改革プランを発表してもらいました。

発表の内容は、「酒税やたばこ税を増税し、不健康になる人を減らし、社会保障費の減少につなげる」、「学費の免除、給食費の無償化などを通して子育て支援を手厚くする」、「外国人労働者を増やすことで労働力を増加させ、医療費を補う」など多様な視点から検討されており、財務部職員も刺激を受ける機会となりました。



グループワークの様子

参加者の声

参加者からは、「周りの意見を聞くことができて良かった」、「日本の財政状況を知ることができて良かった」、「財政について考えるきっかけになった」などの感想が寄せられました。

財務部の出前講座については、左記連絡先までお気軽にお問い合わせください。



発表者のみなさん

お問合せ先
財務部 財務課（地域連携担当）
☎098-866-0091